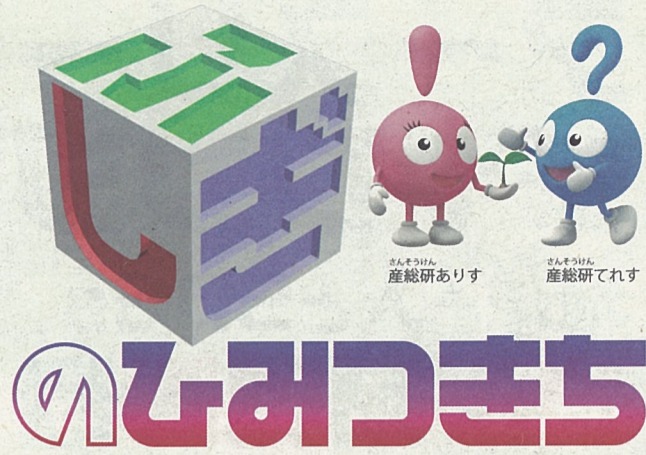


今回のテーマ

どうしてダメなの？ 温暖化

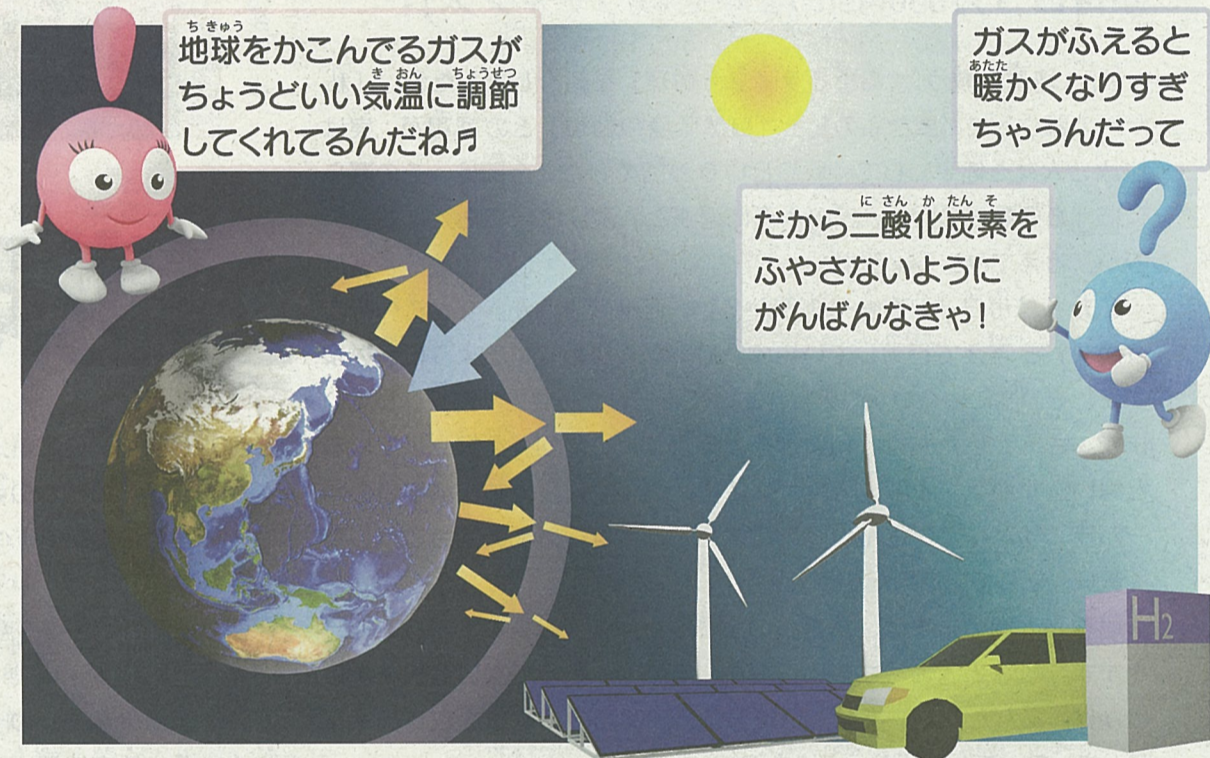


地球の温暖化をくい止めようと世界中の人たちががんばっています。あつたかくなったら、なにが困るの？

私たちの住んでいる地球。海や陸を含めた全体の平均気温は約14度です。生物がすむのにちょうどいい温度です。これは、地球を覆っている「温室効果ガス」のおかげです。もしもこれがなかったら、地球の平均気温は氷点下18度くらいまで下がっちゃうのです。そんな寒いイヤですよね?! それに比べたら、「ちょっとくらい温暖化してもいいんじゃないの」って思う人もいるかもしれません。

◇温室効果ガスって？

地球には、石炭や石油といった化石燃料があります。太古の動物や植物の死骸が化学変化を起こしてできたものです。これらは燃えると温室効果ガスになります。私たちは生活を豊かにするために、地中に閉じ込められていた、この化石燃料をわずか200年のうちに多量に燃やしてしまいました。地球の年齢



や石炭ができた何億年前という時間と比べると、あつという間です。その結果、大気の中の温室効果ガスが多くなり、温暖化が進みました。といっても、実は地球全体の平均ではたった1度ほど上がっただけです。

◇気温が1度上がると？

でも、そのたった1度で、何

が起きているのでしょうか。例えば、地域によっては気温が高くなりすぎたり、激しい雨が降ったり、逆に雨が降らなくなったり、台風が強くなったりします。そういう急激な気候の変化で、人間も動物も植物も生活が大変になっています。水も食べ物も手に入らなくなることもあります。災害で住む場所がなくなってしまった人もいま

す。平均気温が上がると、こういったことはもっと増えると予想されます。2100年までには平均気温で、あと0.5度ぐらまでの上昇を抑えないといけません。多くの国が50年までに温室効果ガスをこれ以上増やさないことを約束しました。そのために、いろいろな工夫や努力が世界中で始まっています。

今日の先生



田中加奈子さん

「工学博士です。3児の母です。難しいことも当たり前のこと、科学の目で考えるととても楽しいです」
産業技術総合研究所(産総研)ゼロエミッション国際共同研究センター。温暖化対策やエネルギー問題などを研究。出身小学校は東京都渋谷区立常磐松小。

さんそうけんって？

日本で最大級の公的研究機関なんだ。茨城県つくば市など、全国11か所の研究拠点があって、日本の産業や社会に役立つ技術について研究を進めているよ。

キッズむけウェブページはこちら →
(さんそうけんサイエンスタウン)

